令和4年度　第3回　Global Science Leadership

今年度のSSH交流会としては最終回にあたるGlobal Sceince Leadershipを実施した。今回も前回同様、以下のことを目的として実施した。

・現在、課題研究で取り組んでいる内容についてプレゼンテーションを行い、異なる文化的背景をもつ他者との質疑応答や意見交換を行うことで、研究に対するさらなる課題を見つける。
・海外の高校生と英語で交流することで、英語を用いた表現力・コミュニケーション能力を育み、将来国際的に活躍する研究者としての素地を養う。

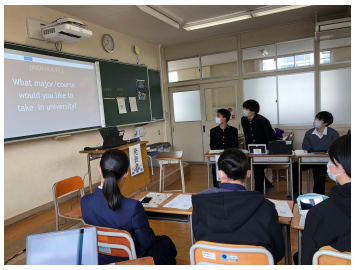
1 日時　　令和5年3月18日(土)

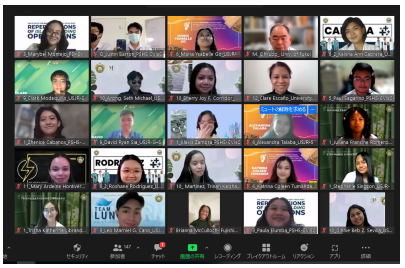
2 場所　　藤島高等学校2・3年生各教室、社会科教室(オンライン zoom同時開催）

3 講師　　福井大学附属国際原子力工学研究所　泉佳伸教授
福井大学学術研究院工学系部門原子力安全工学講座　松尾陽一郎准教授　他21名

4 対象　　本校2年9組 41名
武生高校、若狭高校、三重県立津高校、石川県立金沢泉丘高校、滋賀県立膳所高校
Philippine Science High School(Central Visayas),
University of San Jose - Recoletos High School
De La Salle Lipa Senior High School　　参加者合計　188名

5 内容
1自己紹介
2課題研究発表（英語プレゼンテーション、Q＆A、担当教授によるご高評、感想）
3生徒交流会





6 参加生徒の感想

・僕たちのチームの研究の課題のひとつに、データを取れないということがあったが、講師の先生に、データをとるための方法として透明度を図るため酸素濃度を図る機械を使うべきとのアドバイスをいただき、とても参考になった。

・全員の発表のレベルが高く、内容も難しく理解するのが大変でした。しかし各グループ細部までこだわってスライドや研究を作り上げていてとても参考になりました。また各国ごとの交流では様々な文化の違いなどがあり、とても興味を持てました。

・今回は、前回よりも内容の濃い発表を英語でできたと思いますが、他の高校の発表の内容が専門的なこともあって理解できない部分もありました。その場だけの知識では対応しきれないことも多いので、こういう専門的な研究の発表を聞くときには事前に資料をよく読み込んでおくことも大切だとわかりました。また、授業では触れることのできないような英語に触れることができたことが大きな刺激になりました。

・I am impressed by the hard work that is evident in every presentation of the different research conducted. Furthermore, the event was really enjoyable as I got to interact with the other students and get to know them better. Most importantly, we were able to help each other with the given questions and suggestions for the research.